

一 秋子さんの学校では、トライやる・ウィークの礼状を作成する際、クラスで互いに検討している。【下書き】を読んで、あとの問いに答えなさい。

拝啓 虫の音が美しい季節、お元気でお過ごしのことと思います。私は、勉強や部活動にがんばって取り組んでいます。

さて、先日のトライやる・ウィークでは、大変お忙しい中、私たちにたくさんのことを教えてくださり、本当にありがとうございます。院長先生のお話をウ聞きになつて、動物病院の仕事はとても責任のある仕事だということがよくわかりました。

私は動物が大好きなので、動物にふれあえるのが楽しみだと思つていませんでしたが、実際はそうではありませんでした。また、予想もしなかった仕事もたくさんあつてとても驚きました。スタッフの方の仕事ぶりにも感動しました。

私は犬を飼っています。動物病院で学んだことを生かしながら、これからも愛情をもって接していきたいと思っています。また、獣医になりたいという夢も一層大きくなりましたので、実現できるようにしっかりと勉強に励んでいきたいと思っています。

一日の気温差が大きくなってきています。風邪などエひかれませぬよう、お体を大切にお過ごしください。



東原中学校 二年三組 高野秋子

やまもと動物病院
山本恵三院長先生

問一 傍線部ア～エのうち、敬語表現として適切でないもの一つを選んで、その符号を書きなさい。

問二 空欄に入る月日として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 三月十三日 イ 七月十七日 ウ 九月十九日 エ 十一月二十一日

問三 秋子さんは、クラスメートの意見を参考にして、【下書き】の□で囲った段落を、次のように修正した。【修正文】について、あとの問いに答えなさい。

【修正文】

私は小さいころから動物が大好きで、小学生の頃にテレビで見た獣医になりたいという夢を持っています。トライやる・ウィークが始まる前は、仕事のことではなく、動物にふれあえることが楽しみだという軽い気持ちだったのですが、一時間おきに動物の様子を見て世話をしたり、野生の動物のケガを治療したり、意外な仕事もあって驚きました。また、院長先生が出すさまざまな指示をてきぱきとこなすスタッフの方の仕事ぶりにも感動しました。みなさんの動物への愛情がとても強いことがよくわかりました。その愛情こそが、動物病院の仕事で一番大切なことではないかと感じました。

私は犬を飼っています。動物病院で学んだ、動物への愛情を強く持つて接することを今まで以上に心がけながら、飼い犬に接していきます。それが、将来の夢である獣医になるにあたっての条件といえるのではないかと感じています。もちろん、しっかりと勉強に励み、獣医になれるようにがんばっていきます。

(1) 次のクラスメートの意見ア～エのうち、秋子さんが【修正文】に取り入れなかったものを一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア トライやる・ウィークが始まる前の軽い気持ちは、あまり良い印象を与えないから省いておくべきだ。

イ 先生やスタッフの姿から感じた動物病院の仕事のあり方について、具体的に書いたほうがよい。

ウ 動物病院で学んだことや、獣医になることに関して考えさせられたことを強調するとよい。

エ 獣医になりたいという自分の夢についてのことを、最初からもっと強調して書くとうい。

(2) 【修正文】には、(1)のクラスメートの意見のほかに、秋子さんが書き加えたことがある。その内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 動物病院で実際に体験させてもらった仕事について、意外に感じたものを具体的に記した。

イ 院長先生に言われた、動物への強い愛情が大切であることを書き加え、自分も意識すると記した。

ウ トライやる・ウィークでお世話になったことに対する感謝の言葉を改めて明確に記した。

エ 獣医になるための第一の条件である、勉強に励むという意志をはっきりと書き記した。

二 次の書き下し文と漢文を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔書き下し文〕

(李広) 復た冥山の陽に獵す。又臥虎を見之を射るに、矢を没して羽を飲む。進みて之を視るに乃ち石なり。其の形、虎に類す。退きて更に射るに、鏃破れ幹折れて石は傷つかず。

余、嘗て以て揚子雲に問ふ。子雲曰はく、「至誠あれば、則ち金石為に開く。」と。

〔漢文〕

(李広) 復^タ獵^ス於^ニ冥山^ノ之陽^ニ。又見^ル臥虎^ヲ射^ル之^ニ。没^シ矢^ヲ飲^ム羽^ヲ。進^ミ而^{シテ}視^ル之^ヲ。乃^チ石^{ナリ}也。其^ノ形[、]類^ス虎^ニ。退^キ而^{シテ}更^ニ射^ル。鏃^ニ破^レ幹^ヲ折^レ而^{シテ}石^ハ不^ズ傷^{ツカ}。余、嘗^テ以^テ問^フ揚子雲^ニ。子雲曰^{ハク}、「至^ニ誠^{アレバ}、則^チ金^石為^リ開^ク。」

(注) 冥山——山の名前。

臥虎——寝そべっている虎。

鏃——矢の先端のとがった部分。

幹——矢の先端と羽を除く棒状の部分。

揚子雲——中国古代の学者。

〔西京雜記〕

金石——金属や石のような硬いもの。

問一 書き下し文の読み方になるように、二重傍線部に返り点をつけなさい。

問二 傍線部①の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 矢を失くしてしまつて

イ 矢が深く刺さつて

ウ 矢の勢いがなくなつて

エ 矢を落としたと思つて

問三 「類」と組み合わせ熟語を作つたとき、「類」が傍線部②と同じ意味であるものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 種 イ 分 ウ 人 エ 似

問四 本文の内容の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 虎を射ようとしたところ、恐怖で手が震えて隣の石に当たつてしまつたように、誠の心がなければ狙いを外してしまうということ。

イ 虎に似た石を狙つて矢を射ても矢が刺さらなかったように、どんなに集中しても硬すぎるものは射通せないということ。

ウ 虎だと思つて矢を射たときには石にも突き刺さるほどだったように、心から信じればどんなものでも射通せるということ。

エ 虎に化けた石に騙されて矢を打ち切つてしまつたように、お金に目がくらんだ強欲な心では損をしようということ。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今はむかし、八月十五日夜は、名におふ月の満てる時分なり。この夜は、

日と月とさし望む事の正しければ、月の光もことさらに明らかなる故に望

月とも云ふなり。又、まんまるに満つる故に餅月といふとも申し伝へし。

詩作り・哥詠みども、日ごろより含み句をこしらへて、只今作りしやうに

もてなし、うめきすめきて詠み出だす。さるままに日暮より雲うずまきて

雨ふり出でしかば、かねて作りける詩歌相違して、夜ふくれども一首も出

でず。「浮世房、いかに」と仰せられしかば、仰のきうつぶき、麦

穂の風にふかるるやうにして案じける折節、鴈のわたる声聞えければ、「雲

外に鴈を聞きて夜声を」ととなへさまに、不図思ひよりてかくぞ詠みける。

雨ふれば三五夜中の真の闇二千里わたるくらかりの声

（注）含み句——ここでは月見の会に披露するために前もって考え用意し

ておいた詩歌のこと。
浮世房——人名。ある屋敷の主君に仕えていた。

鴈——雁に同じ。

問一 二重傍線部を現代仮名遣いに改めて、全て平仮名で書きなさい。

問二 傍線部②・③の主語として適切なものを、次のア～エからそれぞれ一つずつ選んで、その符号を書きなさい。

ア 月 イ 詩作り・哥詠みども ウ 主君 エ 浮世房

問三 傍線部①の意味する内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア とりつくろつて

イ 客を満足させ

ウ 暗唱して

エ 嘘をついて

問四 本文中の「雨ふれば……」の和歌に用いられている技法として適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 係り結び イ 掛詞 ウ 枕詞 エ 対句

問五 本文の内容の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 月がまんまるになる八月十五日に、多くの歌人が即興で満月の歌を詠み合っていたが、急に天気が悪くなり困り果てていたところ、

浮世房が雨ならではの満月の歌を詠んだ。

イ 八月十五日に開かれた歌詠みの会の最中、多くの歌人があらかじめ考えていた歌を披露する中、浮世房だけが即興で、その場で見た満月の美しさを詠み込んだ歌を披露した。

ウ 多くの歌詠みがあいにくの天候であらかじめ用意していた満月の歌を詠めずに困っていたところ、雁の声を聞いた浮世房は、満月が見えない夜ならではの歌を即興で詠んだ。

エ 天候不良で月が出ていないにもかかわらず、歌人たちがあらかじめ用意していた満月の歌ばかり詠むことを不満に思った浮世房は、あえて月という言葉を入れずに歌を詠んだ。